

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

われわれの世代だと、運動神経のよい者（今では死語か？）は野球をやるが多かった。中学校の校庭では軟式野球部員が実に颯爽と走り回っていた。そのうちの1人には近隣の高校から誘いがあったとのこと。うらやましくも誇らしく思ったものである。田舎の中学からただ1人入学した高校は昔の愛知一中であり、全国中等学校野球大会で優勝もしている。当然のことながら野球部はそれなりに健闘していた。高校2年の時だったか、夏の高校野球大会愛知県予選でいいところまで行ったことがある。勇んで応援に出かけたが、ころっと負けた。その時の捕手が、確か連合の高木前会長であった。

大学の教養部の友人に野球部部員がいた。最初のオリエンテーションで意気投合したが、その後ほとんど姿を見ない。試験の前に突然現れて、また慌ただしく去っていく。つかまえて話をすると、練習、練習の日々とのことであった。同級生と語らってたびたび応援に行った。当然ながらベンチにも入れないようで、フィールドで彼の活躍ぶりを見ることはなかった。進学した学部が異なることもあり、その友人に会うこともなかった。

東京6大学野球のリーグ戦は、前季の優勝校と最下位校が開幕戦で相まみえる。何年生の時だったかはっきりしていないが、秋の優勝校は慶應で、春が慶應と東大の戦いとなった。東大のエースは卒業後に中日ドラゴンズに入った井出である。1回戦は井出が投げて東大が勝った。2回戦をラジオで聴く。スイッチを入れると、東大の先発は驚く事なかれ、なんと友人ではないか。彼は4回まで慶應を押さえ、その後、井出が連投して慶應から勝ち点を挙げたのである。彼が野球部生活で最も輝いた時であった。

最近、彼を交えて昔からの仲間でよくゴルフをするが、話題は慶應に連勝した時のことになる。ラジオの解説者が彼の投球を評して、「これだけ球が遅くて荒れていると、さすがの慶應も打てませんね」と言ったと私の記憶にある。彼はそれは違う、「球が速くて」と言っただけと頑張る。

(跡見 裕)

臨床外科 (第65巻第1号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2010年1月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

2010 年年ぎめ予約購読料 40,160 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 52,200 円
増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 田村・阿部・安部
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構 委託出版物
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。